

令和5年度 事後評価シート

【事務事業シート（政策的経費）】

1	当初	事 項	バイオマス利活用拡大事業費										予算主管課		環境・ゼロカーボン推進課		
		事 業 概 要	循環型社会の形成だけでなく、温室効果ガスの排出削減により地球温暖化対策にも資するバイオマスの利活用を促進するため、設備導入支援のほか、各種普及啓発に取り組む。										始期		R4		
													終期		R6		
		K P I	補助金を活用した廃棄物系バイオマス活用設備導入件数														
			KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
			時点・期間	R4年度		時点・期間	R5年度		時点・期間	R6年度		時点・期間	—		時点・期間	—	
			現状値	1	件	目標値	3 件		目標値	3 件		目標値	件		目標値	件	
						実績値	0 件		実績値	件		実績値	件		実績値	件	
						達成率	0.00 %		達成率	%		達成率	%		達成率	%	
		コ ス ト			最終現計予算額	11,755 千円		最終現計予算額	千円		最終現計予算額	千円		最終現計予算額	千円		
決算額	1,207 千円				決算額	千円		決算額	千円		決算額	千円					
5 年 度		要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。） 補助金の活用についての問い合わせは複数あったが、補助金の性質上、検討に時間を要するなど、事業の実施には至らず、令和5年度の目標は未達成であった。 総括（事業最終年度の場合、要記入。）														
		見直し方向性	大幅見直し（事業組替等）	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） 本事業は令和6年度が終期であるが、補助実績が低調であることから、令和7年度の予算では、補助金額や補助対象等の補助要件を見直すなど、事業の廃止を含め大幅な見直しを検討することとしたい。													

2	6月 補正	事 項	中小企業エネルギー利用見える化推進事業費										予算主管課		環境・ゼロカーボン推進課		
		事 業 概 要	エネルギー価格高騰や脱炭素化への対応が急がれる中、県内企業とのネットワークを有する金融機関との連携により、県内中小企業のエネルギー利用量・CO2排出量の「見える化」を推進し、エネルギーの最適化からCO2削減までの一貫した支援に取り組む。										始期		R5		
													終期		R5		
		K P I	見える化システムを導入した企業のうち、CO2削減につながる具体的な取組みに着手する割合														
			KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
			時点・期間	R4年度		時点・期間	R5年度		時点・期間	R6年度		時点・期間	R7年度		時点・期間	R8年度	
			現状値	—	%	目標値	100 %		目標値	%		目標値	%		目標値	%	
						実績値	100 %		実績値	%		実績値	%		実績値	%	
						達成率	100.00 %		達成率	%		達成率	%		達成率	%	
		コ ス ト			最終現計予算額	6,887 千円		最終現計予算額	千円		最終現計予算額	千円		最終現計予算額	千円		
決算額	669 千円				決算額	千円		決算額	千円		決算額	千円					
5 年 度		要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。） 金融機関及び見える化システム提供事業者との連携により、中小企業へのきめ細かな伴走支援を行うことができた。 総括（事業最終年度の場合、要記入。） 金融機関等の伴走支援もあり、支援先企業について、見える化システム導入後の次のステップである具体的な取組みにつなげることができた。今後は、令和6年3月に設立したえひめ脱炭素経営支援コンソーシアム（愛媛県、伊予銀行、愛媛銀行が構成員）を軸に中小企業の見える化支援を促進する。														
		見直し方向性		見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等））													

5

2月
補正

事 項	水素サプライチェーンモデル実証事業費										予算主管課		環境・ゼロカーボン推進課		
事 業 概 要	民間事業者等と連携して県内におけるグリーン水素を活用した水素サプライチェーン構築に向けた実証試験を実施し、得られた知見を広く共有するとともに、水素ステーション整備に要する費用の一部を助成することにより、水素エネルギーの用途の拡大・エネルギー転換の促進を図る。										始期		R5		
											終期		R7		
K P I	モデル事業実施後取組を表明した事業所数														
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度			R 6 年 度			R 7 年 度			R 8 年 度			
	時点・期間	—	時点・期間	R5～R5年度		時点・期間	R5～R6年度		時点・期間	R5～R7年度		時点・期間	—		
	現状値	—	件	目標値	2 件		目標値	2 件		目標値	3 件		目標値	件	
				実績値	2 件		実績値	件		実績値	件		実績値	件	
				達成率	100.00 %		達成率	%		達成率	%		達成率	%	
				コ ス ト			最終現計予算額	5,958 千円		最終現計予算額	千円		最終現計予算額	千円	
	決算額	230 千円					決算額	千円		決算額	千円		決算額	千円	

5
年
度

要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。） 令和5年度から予定どおり協定を締結した2社と連携し、事業を実施しており、令和5年度は目標を達成している。													
	総括（事業最終年度の場合、要記入。）													
見直し方向性	維持	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） 令和5年度のKPIの実績は想定どおりであり、令和6年度以降も連携に広がりを見せており、KPIは目標達成する と考えられることから、見直しは予定していない。 ※なお、令和6年度予算から、事業を整理し、「水素サプライチェーンモデル実証事業」は、「エネルギー低炭素 化促進事業」に統合した。												

6 当初

事 項	環境保全資金融資制度運用費										予算主管課		環境・ゼロカーボン推進課	
事 業 概 要	金融機関に対し貸付原資の預託及び利子補給を行うことにより、中小企業者等が行う環境保全施設整備等の資金の融通を円滑にし、環境に配慮した事業活動の推進を図る。										始期		S45	
											終期			
K P I	融資件数													
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度				
	時点・期間	4 年度		時点・期間		時点・期間		時点・期間		時点・期間				
	現状値	3 件	目標値	5 件		目標値	5 件		目標値	5 件				
			実績値	4 件		実績値	件		実績値	件				
			達成率	80.00 %		達成率	%		達成率	%				
コ ス ト			最終現計予算額	78,880 千円		最終現計予算額	千円		最終現計予算額	千円				
			決算額	76,123 千円		決算額	千円		決算額	千円				
5 年 度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。） 令和5年度の実績は4件と目標値の5件は達成しなかったものの、「地球温暖化対策枠」（貸付金利0.50%）を設けた平成29年度から、融資実績は増加傾向（平成29：1件⇒令和5年度：4件）にあることから、中小事業者の脱炭素への関心は高まっていると考えている。												
		総括（事業最終年度の場合、要記入。）												
	見直し方向性	改善	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） 太陽光発電設備等の導入ニーズの高まりを踏まえ、融資利用件数の増加も期待されるが、更なる利用増加を目指し、融資対象や要件等を適宜見直し、令和7年度予算以降に反映させる。											

